



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

（第四三九号）

春分 しゅんぶん

三月二十日

隠岡遺跡の茅葺き屋根 かくれがおか かやぶ

伊勢市倭町やまとにある「隠岡遺跡公園」は、弥生時代から平安時代の遺跡です。昭和五十八年に市営住宅建設にちなむ事前調査として約二三〇〇平方メートルが発掘された結果、「弥生時代後期のむらの跡」と「平安時代の建物群跡」の遺跡とわかりました。

なにしろ、発掘調査の結果、弥生時代後期の竪穴住居二十二棟、排水路のある遺跡が宮川より東、伊勢神宮周辺で初めて見つかった貴重なものといえます。遺跡は公園に整備され、茅葺き屋根の竪穴住居一棟が復元されました。伊勢で唯一、弥生時代の住まいが見られるところです。茅葺き屋根がすべてふき替えられたと聞いて、行ってきました。

共同墓地の急な坂を上ると一段高いところに、隠岡遺跡公園があります。竪穴住居たてあなのまだ真新しい茅葺きの屋根は、みずみずしいほど。長野県の職人がふき替えたと聞きました。アパートが建ち並ぶ中で、ここにはタイムスリップしたような空間が広がります。眼前には一棟だけですが、この高台に二十二棟の竪穴住居があったのかとその規模に驚きました。

そして、公園内には、掘立柱建物の柱穴も残ります。ここにはさらに平安時代から鎌倉時代の建物があつたことが調査でわかっています。弥生時代から鎌倉時代までの住居跡が残っている高台、古くはここに人が住んでいたのです。公園からは、伊勢市内が一望できます。眼下には、住宅が広がりますが、おそらく古代の海岸線は今よりもっと内陸部にあつたのでしょうか。

季節は、昼と夜の時間が等しくなるといわれる春分です。こうした季節の暦は古代中国から伝わり、日本では平安時代から使われているといえます。農業が中心の古代、農作業の作付けなどの目安となったことでしょう。遺跡に立つとまた暦の大切さが伝わってきます。

文 千種清美



おかげの里便り

おかげ横丁

○ 五十鈴川桜まつり

今年も五十鈴の里に桜の季節が近づきました。

花見は桜の木に宿る農業の神様をもてなし、秋の五穀豊穡をお祈りする行事と言われていました。桜の木に舞い降りた神様をお迎えし、奉納芸能や屋台などをご用意いたします。どうぞ、ごゆっくりお楽しみください。

日 時／3月下旬～4月上旬（桜の咲く頃） 10:00～17:00

場 所／五十鈴川河川敷周辺

● 花見特別席（予約制）

桜を愛でながら花見料理やお酒を愉しむ特別席をご用意します。

日 時／3月28日（金）～4月6日（日）

場 所／野あそび棚（2階テラス席）、とうふや（離れ座敷席）

料 金／お一人様 90分 10,000円（花見料理込み）

定 員／1組4名様まで

予 約／専用予約サイトにてご予約を承ります。

● 花見屋台

新緑の朝熊山を背景に対岸より愛でる桜は格別です。

団子、甘酒、弁当などの屋台が並びます。

赤もうせんの椅子に腰をおろし、ごゆっくりおくつろぎください。

日 時／4月上旬（桜の咲く頃） 10:00～17:00

場 所／おかげ横丁太鼓櫓

● 夜桜のライトアップ

満開時は日没より、五十鈴川河川敷周辺をライトアップします。五十鈴川の水面に映る幻想的な桜もお楽しみください。

日 時／令和7年3月下旬～4月上旬（満開の頃）

お問い合わせ/おかげ横丁総合案内「おみやげや」電話0596-23-8838

五十鈴塾

○ 日本人の神仏観～春まつりと芸能～

春と言えば今の人には3月4月頃を思い浮かべますが、明治末ごろまでは立春になれば春とされてきました。その頃は日本人の8割は農民なので、稲作の出来が最大の関心事。小正月である1月15日（今の2月）頃に、神社の境内などで五穀豊穡と子孫繁栄を祈る田遊び、田楽、田植踊りなどの芸能が各地で行われていました。そして桜が咲くと本格的な農作業が始まるので、その前に酒と肴をもって山遊び、野遊びをして英気を養ったのです。現代の花見には、江戸でソメイヨシノが取り入れられてからの都市型の行事といえるでしょう。

日 時／3月26日（水） 18:30～20:00

講 師／神崎 宣武（民俗学者・五十鈴塾塾長）

参加費／一般 1,800円 会員 1,300円（お茶・菓子代含む）

場 所／五十鈴塾右王舎

講座についてのお問い合わせ・お申込み／電話0596-20-8251

五十鈴茶屋

○ 五十鈴茶屋節気菓子

の
野あそび

はるか昔から、人々の楽しみであった春の野遊び。

五十鈴川端に、たくさんの若草が茂るこの季節をよもぎの草餅で表現しました。

はる
春の川

五十鈴川の流れて目をやれば、ほんのりと水面が桜色に染まります。

桜あんを葛寒天で包み、美しい景色を写しました。

おう
桜香

伊勢路は桜の名所。

咲く様も散るさまも美しく、いにしえより愛されてきた桜の花。

ほのかに漂う香りも楽しみの一つです。